

2. 整備事業

I 産地競争力の強化に向けた取組用

(山梨県 平成29年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①								成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				現状値の基準年度 (平成23年)	1年後 (平成24年)	2年後 (平成25年)	3年後 (平成26年)	4年後 (平成27年)	5年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
				被害面積 被害金額	被害面積 被害金額																	
山梨県	山梨県	鳥獣被害防止施設 水稲 ぶどう もも なす 等 ニホンザル イノシシ ニホンジカ	被害軽減率-30%	被害面積 62.8ha 被害金額 73,868千円	被害面積 64.5ha 被害金額 83,806千円	被害面積 61.8ha 被害金額 71,384千円	被害面積 59.9ha 被害金額 68,977千円	被害面積 64.7ha 被害金額 70,501千円	被害面積 63.9ha 被害金額 64,352千円	被害面積 44.0ha 被害金額 51,708千円	被害面積 -5.9% 被害金額 42.9%	鳥獣被害防止施設 混合柵 金網H=2.3m うち電柵線3段 L=23,550m 防止柵 金網H=2.3m L=10,595m	550,000,000	301,750,000	160,650,000	87,600,000	平成25年3月25日	目標年度における被害金額と面積は、県全体としては鳥獣の生息域の拡大や生息数増加が影響して、目標を達成することが出来ていないが、柵の実施箇所では被害が大きく軽減され効果が現れている。 目標達成に向け、既存の被害対策(捕獲活動)を継続して行くことで被害軽減を図る。				
甲州市	甲州市	鳥獣被害防止施設 ぶどう もも すもも ニホンザル イノシシ ニホンジカ	被害軽減率-30%	被害面積 2.21ha 被害金額 4,105千円	被害面積 1.99ha 被害金額 3,695千円	被害面積 2.30ha 被害金額 3,600千円	被害面積 2.70ha 被害金額 3,900千円	被害面積 2.70ha 被害金額 3,900千円	被害面積 2.05ha 被害金額 2,300千円	被害面積 1.55ha 被害金額 2,874千円	被害面積 24.24% 被害金額 146.6%	鳥獣被害防止施設 電気柵増設(4段) L=4,408.8	71,780,100	35,000,000		36,780,100	平成25年3月22日	防護柵の設置箇所における被害は減少した。更に防護柵の整備を進めると共に、被害対策を継続的に実施して被害を軽減していく必要がある。 捕獲機材の未設置箇所や活動がされていない箇所での被害の拡大等により、市全体の被害面積の目標は達成できなかった。しかし、被害金額は146%と大幅に目標を達成しており、かつ柵の実施箇所においては、対策の成果が確実に効果が見られていると考えられる。 今後も柵の整備を推進すると共に、市や関係機関と連携し、被害対策を強化して被害軽減を図る必要がある。				

都道府県平均達成率	52%	総合所見	鳥獣の生息域の拡大や生息数の増加の影響等により、全体として目標を達成することが出来なかったが、柵の実施箇所においては農作物への被害は軽減されており効果を十分発揮している。今後は、市町村や地元等と連携して、柵の適正な維持管理を図ると共に、柵が整備されていない地域に柵を整備することで被害の軽減を図る。また、捕獲対策の強化や生息環境整備等の対策を複合的に継続して行う事で被害の軽減を図っていく。
-----------	-----	------	---

- (注) 1 事業実施計画に準じて作成すること。  
 2 要領第1の1の(2)のイの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。